社会教育だより

令和5年 (2023年) 11月号 No.126



「一人一学習」「一人一健康」「一人一奉仕」をめざして

徳之島町教育委員会 社会教育課

TEL 0997-82-2904 FAX 0997-82-2413

4年ぶりに開催の「第64回町民体育祭」で熱戦を展開

「奄美群島日本復帰70周年記念 第64回町民体育祭」が、10月15日(日)徳和瀬の健康の森総合運動公園陸上競技場で開催されました。4年振りの開催となった体育祭は、選手、役員と各地区の応援団等合わせて約1500人が参加。徳之島町のスポーツの一大イベントとあって、会場は終日歓声と熱気に包まれました。

体育祭は、「日本復帰七十周年 先祖のほこり受けつぎて 今こそひとつに 町民体育祭(母間 小学校6年 尚 正宗さん)」を大会スローガンとして、町内園児と保護者による親子遊戯を皮切りに、Aブロック5チーム、Bブロック6チーム計11チームが各年代による100m走やむかで競走、玉入れなどの多彩な25種目で熱戦を展開しました。今年度から新たに「50歳以上男女上から下か

ら」が新競技として加わり、慣れない競技 ながらも亀徳チームと中区チームが初の1 位に輝きました。

大会結果は、フィールド競技で複数の1位とムカデ競走が男女とも1位を獲得した電徳チームが見事6連覇を飾り、Bブロックでは、トラック・フィールド競技共に安定的な得点獲得で中区チームが優勝し、来年度Aブロックへの昇格を決めました。

第60回大会結果

64 Aブロック

優勝:亀徳 準優勝:北区 3位:母間

4位:南区 5位:山

Bブロック

優勝:中区 準優勝:花徳 3位:神嶺

4位:東区 5位:尾母 6位:手々



家庭は全ての教育の出発点!就学時健診で家庭教育講話を実施

10月11,12日の2日間、町生涯学習センターにおいて、来年度小学校に入学する児童を対象とした「就学時健康診断」に併せて、保護者を対象に家庭教育支援チーム「つむぎたい」の家庭教育支援員が家庭教育講話を行いました。

講話では、2日間に3名の家庭教育支援員が出席し、リフレーミングと呼ばれるポジティブな思考や言葉かけで子育てを楽しむコツや、自身の子育て経験から伝えたい「早寝・早起き・朝ごはん」を含めた基本的な生活習慣習得の重要性、本年度の町民会議でも重点取組事項となっている「読書活動の推進」と関連して、読書の大切さや、1日20分読書・親子読書の取組について紹介し、子どもの発達段階に応じた読書をすすめるとともに、支援員お薦めの本について紹介しました。

参加者アンケートでは、「限られた時間の中で子どもと向きあおうと思った」、「子どもの短所と思っている事を見方を変えてみようと思う」といった感想が寄せられていました。



家庭教育力・地域カUP 🗲

大人が変われば → 子どもが変わる 家庭が変われば → 地域が変わる

親子で学ぶ「奄美群島日本復帰70周年」

10月7日(土)、町生涯学習センター工作室において、親子で 学ぶ「奄美群島日本復帰70周年」が開催されました。

本講座は、奄美群島の日本復帰の歴史と復帰に奔走した人々の想いを子ども達へ伝えたいとの思いから、町教育委員会及び町家庭教育支援チーム「つむぎたい」の主催により開催したもので、当日は、親子10組25名が参加しました。

講座では、講師の幸野善治副町長が、太平洋戦争時の奄美を取り巻く状況や、奄美群島がアメリカ軍の統治下におかれることとなった経緯、統治下時代の奄美群島の人々の暮らしについて説明したほか、復帰の立役者として、泉芳朗氏と前田長英氏、為山道則氏の3名を紹介しました。講話の最後には、奄美群島の人々が、統治下時代に島の人々の心の拠り所であり活力ともなった、農村小唄をはじめとした「新民謡」を副町長自らが三味線と歌で披露し、「徳之島小唄」では、子ども達も一緒になって歌う姿が見られました。講話に続いては、11月5日に開催の復帰記念行事のパレードに使用される日の丸の小旗の作成を行い、親子一緒に島の歴史について学ぶ良い機会となったようでした。





教育委員会 イベントの お知らせ

①11/18・19の2日間にわたり、「オープンウォータースイミング徳之島大会」が山漁港で開催されます。皆さまの応援お待ちしています。

②11/25(土)は、50 年ぶりに完成した 「徳之島町史」の刊 行を記念したシンポ ジウムが開催されま す。徳之島の自然 や歴史について学 んでみましょう!





11月行事予定 🍅 😩 🤔 🥟 👛

11月3日(金) 徳之島町文化祭

11月 7日(火) 檻の中のライオン講演会in徳之島町

11月11日(土) エンジョイスマイルレクリエーション講座

11月18日·19日 第2回OWS徳之島大会

11月25日(土) 町史刊行記念シンポジウム

11月のおはなしの時間 11日・25日 💹

家庭教育支援チーム「一ままた」」から一言

他人に期待してイライラ 自分にチカラをつけてワクワク

環境も考えも一人一人違うのだから、他人に期待しすぎると疲れちゃいますよね。

「○○してほしい」ではなく、「○○したい」を 増やして、自分のスキルアップを続けると **■** 人生が輝きだしそうですね。